

# 移住・定住促進事業【一部新規】

予算額 35,000千円 (R3 20,000千円)

## 1 事業の目的・概要

本県においても人口減少が迫る中、交流人口の増加や地域社会を支える人材の確保を目的として、居住地としての本県の魅力をPRします。

また、「ちば移住推進月間」(10月～11月)を中心に、市町村等と連携した相談会などを積極的に実施し、移住・定住の促進を図ります。

## 2 主な事業内容

### (1) プロモーションビデオによるPR【新規】 5,000千円

地域の特色や魅力的なライフスタイルについて、移住者へのインタビューを含む動画を作成し、県ホームページなどで発信します。

### (2) ちば二地域居住“リアルタイム体感”事業【新規】 6,000千円

インフルエンサーが実際に二地域居住を体験し、その様子や感想をリアルタイムでSNSにおいて発信することで、移住検討者に地域のリアルな情報を体感してもらいます。

### (3) 専属相談員の配置【新規】 8,600千円

ふるさと回帰支援センターに千葉県専属の相談員を配置します。

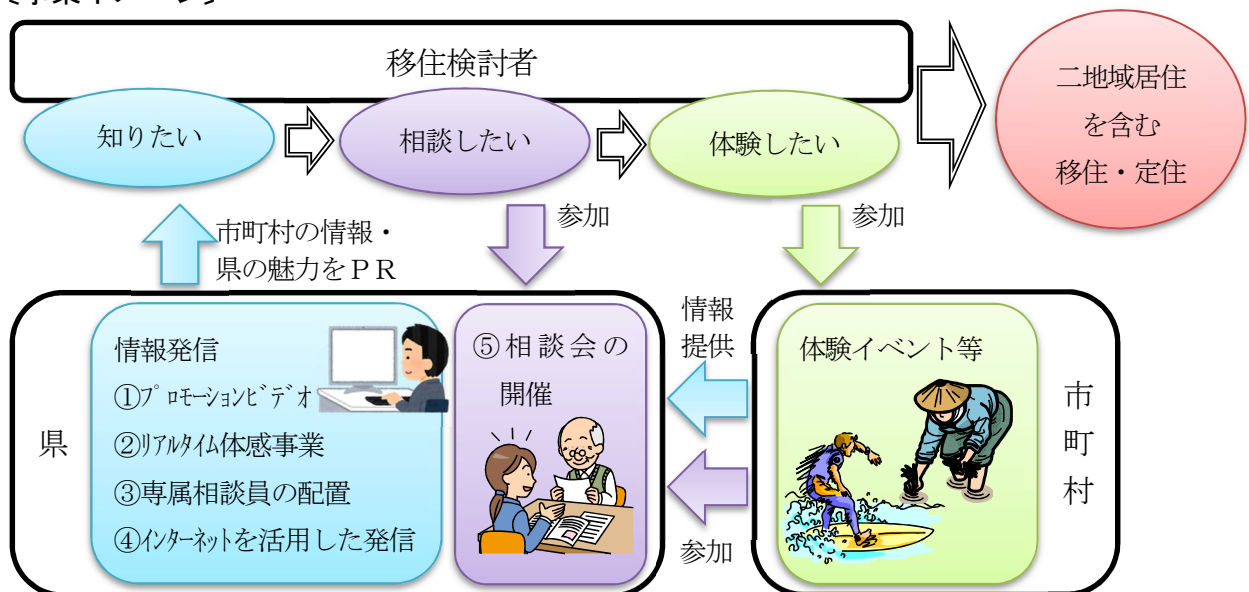
### (4) インターネットを活用した情報発信 5,000千円

県ホームページやSNSを活用して地域の情報等を発信します。

### (5) 移住相談会の開催 2,200千円

市町村等と連携した合同移住相談会を都内で開催します。

## [事業イメージ]



担当課・問い合わせ先  
総合企画部政策企画課  
043-223-2202

## 千葉の海の魅力発信事業【新規】〔一部再掲〕

予算額 95,500千円

### 1 事業の目的・概要

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に広く発信します。

### 2 主な事業内容

#### (1) 千葉の海のPRのための統一デザイン等の作成 3,500千円

統一感のある魅力発信を行うため、本県の伝統文化である「萬祝<sup>まいわい</sup>」の柄を現代的にブラッシュアップした新たなデザイン「maiwai (仮)」を作成するとともに、千葉の海を想起させるイメージカラー「chiba blue (仮)」の選定等を行います。

※「萬祝」とは、大漁の際、祝いの引出物として出された漁師たちの晴れ着のことです。江戸時代より房総半島一帯から各地に広まったとされています。

#### (2) 千葉の海と水辺の魅力発信事業 40,000千円

本県の「海」や「水辺」が持つ多様な魅力をテレビやインターネット等の媒体を通じて発信するほか、都内で配布されるフリーマガジンやWEBに記事広告を掲載し、連動するイベントを開催します。

#### (3) GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業〔再掲〕 22,000千円

千葉県への誘客を更に促進するため、千葉ならではの花、海、地形、建物などの思わず写真に撮りたくなるスポットを巡ると、抽選で県産品等、魅力的な賞品が当たるデジタルポイントラリーを実施します。

#### (4) スポーツによる地域活性化支援事業 10,000千円

県内の豊かな自然を活かしたサーフィンなどのスポーツと、地域に根差す文化や食材などの魅力を組み合わせた体験ができるようにすることで、千葉でスポーツに親しむ人を増やし、地域の活性化を推進します。



#### (5) 新しい千葉の食文化創生事業〔再掲〕 20,000千円

県産農林水産物の持つ素材の良さを生かしつつ本県のイメージアップにつながるような、個性のある新たな「千葉料理」を創出し、県産品にこだわりのある飲食店等で提供することにより、料理を介して本県の魅力を発信します。

#### 担当課・問い合わせ先

(1) 環境生活部県民生活・文化課 043-223-4131

(2) 総合企画部報道広報課 043-223-2252

(3) 商工労働部観光誘致促進課 043-223-2484

(4) 環境生活部リミック・パラリミック推進局開催準備課 043-223-2434

(5) 農林水産部流通販売課 043-223-2959

## 県庁舎照明のLED化事業【新規】

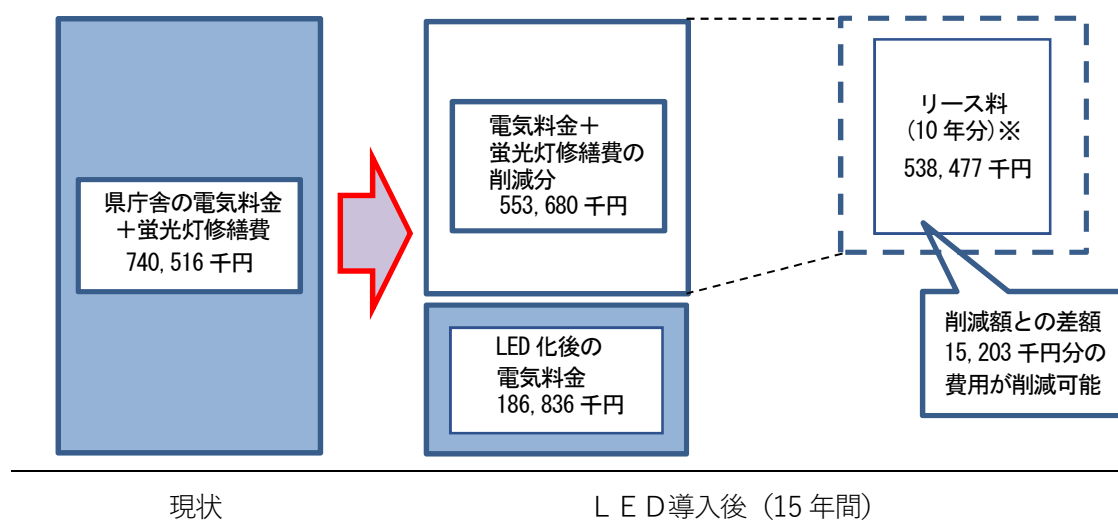
(債務負担行為 539,000千円)

### 1 事業の目的・概要

省電力化により脱炭素社会の実現に貢献するとともに、財政負担の軽減を図るため、県庁舎の照明をリース方式により一括してLED化します。

#### 【経済効果見込み】

(県庁舎をLED化した場合の15年間換算の見込み)



※リース後の所有権は県に帰属する契約とし、耐用年数15年まで使用する想定

#### 【二酸化炭素排出量削減見込み】

約764トン/年 (約1,164トン→約400トン)

### 2 事業内容

[対象施設] 本庁舎、中庁舎、南庁舎、議会棟

[照明灯数] 26,587個 (うちLED化済み595個)

[スケジュール (想定)]

令和4年4月～9月

契約手続き、現場確認等

令和4年10月～令和5年3月

各庁舎設置作業

担当課・問い合わせ先

総務部管財課

043-223-2099

# 県立学校照明器具LED化事業【新規】

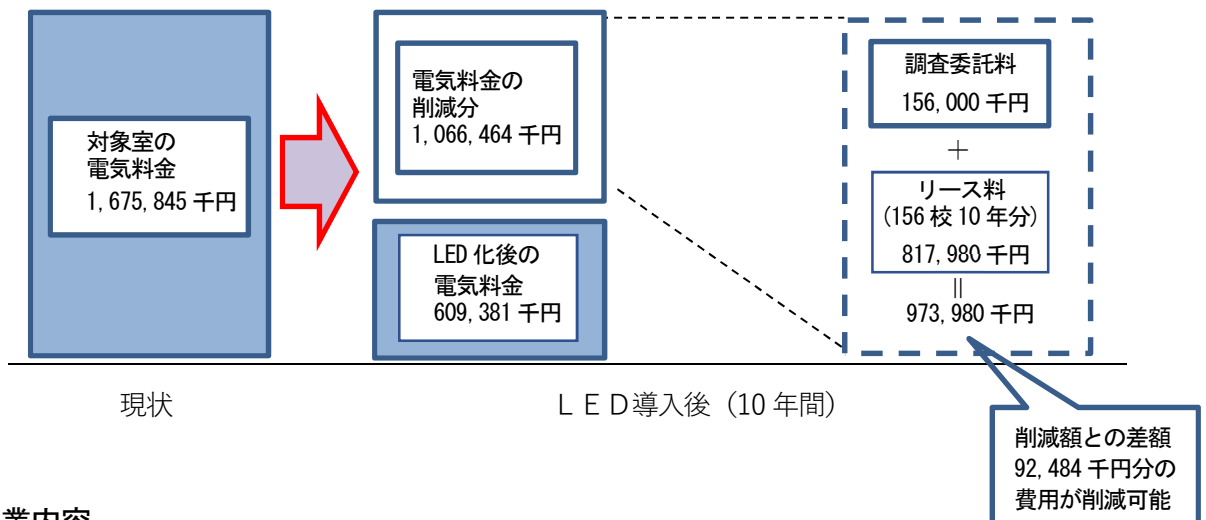
予算額 156,000千円

## 1 事業の目的・概要

電気料金やCO2の削減を図るため、学校の照明器具をリースによりLEDに切り替えます。令和5年度からのリースによる切り替え実施に向けて、令和4年度は、既存照明の設置状況等の調査を実施します。

### 【経済効果見込み】

(県立学校156校の対象教室をLED化した場合の10年間換算の見込み)



## 2 事業内容

### (1) 整備対象校

長寿命化対策事業においてLED化を実施する11校を除いた、高等学校119校、特別支援学校35校、中学校2校の計156校

### (2) 整備対象室

照明使用時間が長く、電気料金削減額がリース料金を上回ると想定される部屋 (普通教室、事務室、校長室、職員室、保健室等)

### (3) 整備方法

令和5年度から令和8年度までの4年間に分割し、地域ごとの一括発注により10年間のリース契約を締結し整備を進めます。

令和4年度は、LED化を進めるにあたり必要となる、各学校の照明の設置状況等の把握やLED化した際の電気容量の試算等を行う調査委託を実施します。

(調査内容)

- ・各学校の照明の設置状況 (照明台帳の整備、写真撮影)
- ・図面の作成
- ・電気容量の減少計算、分電盤の回路確認等

担当課・問い合わせ先

教育庁企画管理部教育施設課 043-223-4158

## 公用車における電動車等の導入

予算額 186,024 千円

### 1 事業目的・概要

脱炭素社会の実現のため、県自らの率先した取組として、令和3年10月に「千葉県公用車の電動車<sup>(※)</sup>導入方針」を策定し、2030年度までに県の公用車全体を電動車にするという目標を定めました。同方針に基づき、令和4年度の公用車の更新に当たっては、原則ハイブリッド自動車を導入します。また、率先導入による普及促進を図るため、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車を一部所属に導入します。

〔(※) 電動車：電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)、ハイブリッド自動車(HV)〕

### 2 事業の内容

#### (1) ハイブリッド自動車の導入 182,483 千円

知事部局（出先機関を含む）における公用車の更新に際し、計 142 台のハイブリッド自動車を導入します。

#### (2) 電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の導入 3,541 千円

○合同庁舎への電気自動車の導入(リース)

○環境研究センターへのプラグインハイブリッド自動車の導入(リース)

印旛合同庁舎(印旛地域振興事務所)にEVを1台、環境研究センターにPHVを1台導入し、通常業務のほかイベント等で活用し、県民へのPRを行います。

○普通充電器の設置・可搬型外部給電器の導入

上記導入箇所に充電器を併せて設置します。また、EVを移動式電源として活用できるよう可搬型外部給電器を購入します。



【県（本庁舎）で保有する電気自動車】

担当課・問い合わせ先  
環境生活部大気保全課  
043-223-3558

## 住宅用設備等脱炭素化促進事業【一部新規】

予算額 338,000千円 (R3 300,000千円)

### 1 事業の目的・概要

家庭における地球温暖化対策の推進に加え災害時における電源の確保を図るため、家庭用の燃料電池（エネファーム）や蓄電池などの導入経費について、市町村と連携して助成を行います。また、二酸化炭素排出量の削減効果がある電気自動車やV2H充放電設備（以下「V2H」という。）※を新たに助成対象に加え、家庭における地球温暖化対策及び電力強靱化の一層の推進を図ります。

※電気自動車等で蓄えた電力を家庭で使用するための設備

### 2 事業内容

県補助金を活用して、市町村が脱炭素化に向けた住宅用設備等を導入する住民の方に補助金を交付します（市町村により補助対象設備は異なります。）。

### 3 補助対象

#### ○燃料電池（エネファーム）

都市ガス等と空気から電気とお湯を作り出す、エネルギー効率の高い家庭用のシステムです。

【補助単価】 10万円（停電時自立運転機能あり）  
5万円（上記以外）



#### ○家庭用蓄電池

ためておいた電気を昼の電力需要ピーク時や太陽光発電のできない夜間に使用したり、災害時に使用できます。

【補助単価】 7万円



#### ○窓の断熱改修

夏場の熱流入、冬場の熱流出の主な要因である窓を改修し、断熱化を行います。

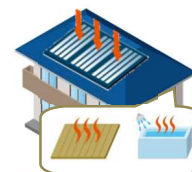
【補助単価】 補助率1/4（上限8万円）



#### ○太陽熱利用システム

太陽の熱で水や空気を温め、給湯や暖房に利用するシステムです。

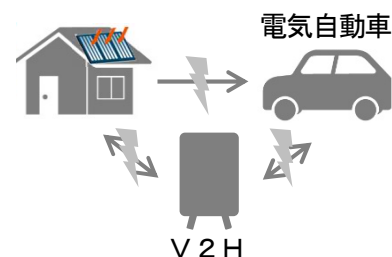
【補助単価】 5万円



#### ○電気自動車・V2H【新規】

太陽光発電設備がある場合に、再生可能エネルギー電力を電気自動車で使用したり、災害時や夜間に、V2Hを活用して、電気自動車にためた電力を住宅で使用できます。

【補助単価】 電気自動車 15万円（V2Hあり）  
10万円（V2Hなし）  
V2H 補助率1/10（上限25万円）



担当課・問い合わせ先  
環境生活部循環型社会推進課  
043-223-4132



## 湖沼における外来水生植物対策事業【一部新規】

予算額 249,674千円 (R3 110,069千円)

### 1 事業の目的・概要

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物が、印旛沼及び手賀沼とその流域河川で急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や、農業・漁業被害などが懸念されていることから、計画的な駆除を実施します。

また、市民団体が自主的に取り組む駆除活動に要する経費を支援します。



ナガエツルノゲイトウ



オオバナミズキンバイ

### 2 主な事業内容

#### (1) 手賀沼及び流域河川における計画的駆除

127,744 千円

令和2年度に開始した計画的駆除を引き続き実施します。

(大津川河口部周辺)



#### (2) 印旛沼及び流域河川における計画的駆除【新規】

111,930 千円

これまで実施した繁茂状況調査等の結果を踏まえ、優先度の高い群落から計画的な駆除を開始します。(鹿島川河口部等)



#### (3) 市民団体における外来水生植物防除事業補助【新規】

10,000 千円

市民団体が外来水生植物を駆除する活動に要する経費に対し、補助金を交付します。

[対象経費] 刈取りを行う際の資機材の購入費・リース代、  
駆除業者への委託費等

(団体の組織運営に係る経常的な経費は対象外)

[補助率] 対象経費の10/10



担当課・問い合わせ先

環境生活部水質保全課 043-223-3814

# 「ちば」の文化芸術発信事業

予算額 20,000千円

## 1 事業の目的・概要

伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、本県の将来の文化芸術の担い手を育成し、優れた文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信する舞台公演を県民が参加できる形で行います。

## 2 主な事業内容

### (1) 日本の伝統芸能 5,324千円

青葉の森公園芸術文化ホールの能舞台において、プロの狂言師による公演を行うほか、子どもたちが伝統芸能に触れ親しむ機会となるよう、狂言の体験や衣装の着用体験などを行います。

- 会場 青葉の森公園芸術文化ホール
- 内容 ・子ども狂言ワークショップ  
・プロの狂言師による公演 等
- 実施時期 令和5年2月予定



青葉の森公園芸術文化ホール 能舞台

### (2) 「ちば」の伝統文化 4,719千円

本県ゆかりの邦楽演奏家によるコンサートを行うとともに、和楽器の演奏体験等を行います。また、地域の郷土芸能団体等による実演を行い、本県の伝統文化の魅力を発信します。

- 会場 千葉県南総文化ホール
- 内容 ・和楽器ワークショップ  
・県内郷土芸能団体による実演 等
- 実施時期 令和5年1月～2月予定

### (3) ちば文化芸術シンポジウム&ミュージカルコンサート 9,957千円

本県ゆかりの様々なジャンルで活動するアーティストや、芸術を支援する企業などを招きトークセッションを行うほか、魅力的なミュージカルナンバーの演奏を行い、県民に積極的に文化芸術活動に参加してもらうための契機とします。

- 会場 千葉県文化会館
- 内容 ・トークセッション  
・ミュージカルコンサート 等
- 実施時期 令和5年3月予定

担当課・問い合わせ先  
環境生活部県民生活・文化課  
043-223-4131



# 千葉県文化会館大規模改修事業

予算額 198,769 千円 (R3 49,364 千円)

(債務負担行為 59,000 千円)

(継続費 11,743,000 千円)

## 1 事業の概要

建築後50年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいる千葉県文化会館について、外壁補修、天井改修、バリアフリー対策等の大規模改修を行います。

## 2 事業内容

令和4年度は、前年度に引き続き実施設計を行います。

また、大規模改修工事に着手するため、継続費を設定するとともに、改修工事期間に合わせて解体する聖賢堂の解体工事実施設計、改修工事期間中に会館の備品を一時保管するための委託等を行います。

○大規模改修工事実施設計 181,700 千円

○聖賢堂解体工事実施設計 6,700 千円

○備品一時保管業務委託 10,369 千円

(債務負担行為 59,000 千円)

○大規模改修工事等 (継続費 11,743,000 千円)

## 3 整備概要

大規模改修工事 (延床面積 10,942.77 m<sup>2</sup>)、聖賢堂解体工事 (延床面積 1,510.67 m<sup>2</sup>)

○実施設計 R3年2月～R4年5月

○改修工事 (予定) R5年3月～R7年4月 ※R5～R6年度は全館休館

○リニューアルオープン (予定) R7年7月



外観



建物内部 (大ホール)

担当課・問い合わせ先  
環境生活部県民生活・文化課  
043-223-4131

## 障害者スポーツ振興事業【一部新規】

予算額 54,000千円 (R3 32,265千円)

### 1 事業の目的・概要

障害者スポーツの理解促進を図るとともに、障害のある人が県内のすべての地域でスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

### 2 事業内容

#### (1) 障害者スポーツ交流大会【一部新規】 7,500千円

①パラスポーツフェスタちば開催事業、②パラスポーツフェスタ東葛（仮称）開催事業  
障害のある・なしに関係なく様々な方々が参加し競技を通じて交流できる対抗試合や体験会を実施し、障害者スポーツを県民に周知することにより、障害者スポーツの普及を図ります。

#### (2) 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業 12,200千円

##### ①コーディネーター派遣事業、②障害者スポーツ拠点づくり支援事業

各市町村や地域クラブ等が連携し、主体的に障害者スポーツ大会や体験会、教室等に取り組む場合のほか、広域的な障害者スポーツ拠点の振興を目的とした事業を実施する場合に、市町村等へコーディネーターを派遣します。

#### (3) 障害者スポーツ指導者養成事業 1,875千円

障害者スポーツ指導員の研修会を開催し、障害者スポーツの指導者の養成を図ることで、障害のある人が気軽に、どこでも障害者スポーツの指導を受けることができるような環境を整備します。

#### (4) 障害者スポーツ団体支援事業 15,000千円

障害者スポーツの活性化を図るため、県内の障害者スポーツ競技団体の体制整備や体験会等の開催に係る取組に対して助成を行います。

#### (5) パラアスリート等学校訪問事業【新規】 5,445千円

県内の各学校にパラアスリート等を派遣し各種講演会や体験会を実施することで、障害者スポーツを通じて児童・生徒の障害への理解を深め、障害のある人もない人も互いを認め合う共生社会の実現を目指します。

#### (6) パラスポーツ普及・啓発用映像資料等の作成【新規】 6,980千円

障害者スポーツへの参加を促すため、これから障害者スポーツを始める方に対して魅力を発信するための映像資料やリーフレットを作成し、公開・配付します。

#### (7) パラ「旅」応援事業 5,000千円

移動に困難を伴う障害のある人等が障害者スポーツ観戦等を行う場合に、学生ボランティア等と連携して支援を行います。



千葉県障害者スポーツ交流大会

担当課・問い合わせ先  
健康福祉部障害者福祉推進課  
043-223-2352

## 国際障害者スポーツ競技大会支援事業【新規】

予算額 10,000 千円

### 1 事業の目的・概要

障害者スポーツの振興を図るため、県内で開催される世界選手権などの国際競技大会に要する経費の一部を助成します。

### 2 補助対象事業

次の条件を全て満たすものとします。

- (1) パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックス世界大会その他これらに準ずる国際競技大会の実施競技
- (2) 世界選手権やアジア選手権、パラリンピック予選大会などの国際競技大会で次のいずれかに該当するもの
  - ・国際的な競技団体が主催又は開催に関与する大会
  - ・国内の競技団体が主催又は開催に関与する大会で、一定規模以上の大会
- (3) 大会開催地の市町村と連携した大会参加者と観客・地域住民との交流会や体験会など、障害者スポーツの認知度向上や共生社会の実現に資する取組が行われるもの

### 3 補助率等・補助対象者

補助率等	開催経費の 1/4 以内 (10,000 千円上限)
補助対象者	県内市町村又は県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟

#### ○デフリンピックとは

4年に一度、世界的規模で開催される聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会であり、聴覚障害者自身が運営し、参加者が国際手話によるコミュニケーションで友好を深められるところに大きな特徴があります。

#### ○スペシャルオリンピックス世界大会とは

4年に一度、開催される知的障害者のスポーツの世界大会であり、頑張った全てのアスリートを称え、全員を表彰するという特徴があります。



担当課・問い合わせ先  
健康福祉部障害者福祉推進課  
043-223-2352

# パラアスリート強化・支援事業【一部新規】

予算額 30,450千円 (R3 20,000千円)

## 1 事業の目的・概要

東京2020パラリンピック開催を契機として築いてきた支援体制をレガシーとし、大会終了後も千葉県ゆかりのパラアスリートが継続的に競技力の向上を図れるよう助成します。

## 2 事業内容

### (1) 対象

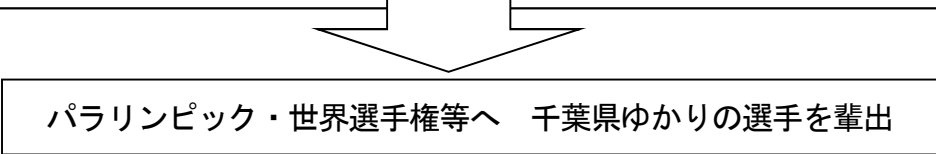
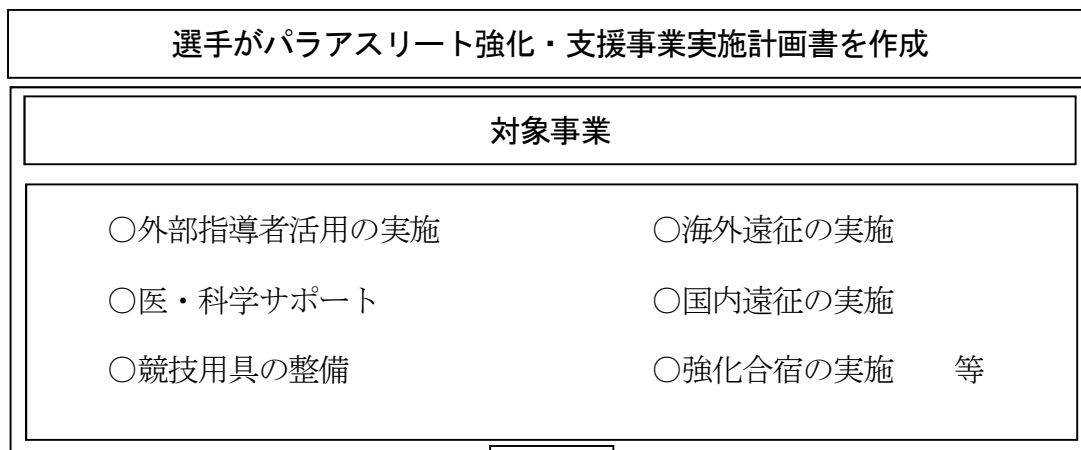
- ①千葉県ゆかりのパラアスリートで競技レベルが基準を満たした者  
(県内の学校の在籍者、県内スポーツクラブ在籍者、県内在住者、県内勤務者など)
- ②県内に活動拠点があり、全国大会等での実績のあるパラスポチーム・団体

### (2) 対象競技

パラリンピック実施の28競技

### (3) 実施内容

競技力向上推進計画に基づく対象事業に対して助成



担当課・問い合わせ先 教育庁教育振興部体育課 043-223-4101
---



## 「新たなスポーツ」の普及促進事業【新規】

予算額 8,500千円

### 1 事業の目的・概要

あらゆる人がスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルスポーツ(※1)や、アーバンスポーツ(※2)等の「新たなスポーツ」について、周知・普及促進を図ります。

また、体の動きに連動してモニター画面上のアバターが動くバーチャルスポーツについて、誰もが一緒に楽しめる新しい分野のスポーツとして研究に取り組みます。

※1…障害の有無や年齢に関係なく、様々な人が一緒にできるレクリエーションの性質を含むスポーツ  
(ボッチャ、ペタンク等)

※2…広い競技場などを必要とせず都市の中でできる、若者の遊びから生まれたスポーツ (BMX、スケートボード等)

### 2 事業の内容

#### (1) ユニバーサルスポーツ等の普及促進

地域のスポーツクラブや市町村、学識経験者等で組織する協議会を開催し、各市町村や団体等で実施しているユニバーサルスポーツ・アーバンスポーツについて情報共有や情報発信等を行い、普及を促進します。

#### (2) バーチャルスポーツの研究

スポーツ大会やイベント等でバーチャルスポーツが体験できるブースを設置し、県民等への周知を図ります。

企業や地域のスポーツクラブ、市町村、大学等と連携し、バーチャルスポーツの活用・普及方法について検討するとともに、実証実験を行います。

### 【参考】



ユニバーサルスポーツの例 (ペタンク)



アーバンスポーツの例 (スケートボード)

担当課・問い合わせ先

環境生活部オリンピック・パラリンピック推進局

開催準備課

043-223-2434



## 総合スポーツセンター体育館整備事業【新規】

予算額 25,000千円  
(債務負担行為 67,000千円)

### 1 事業の目的・概要

令和元年台風第15号の被害により利用停止中の総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地建替えを行います。(令和10年度中に供用開始予定)

### 2 事業内容

解体設計及び測量調査 25,000千円  
基本設計 (債務負担行為 67,000千円)

### 3 整備のコンセプト

ジュニアからシニアまでの全ての年代の競技スポーツの一大拠点

#### 【体育館の整備の考え方】

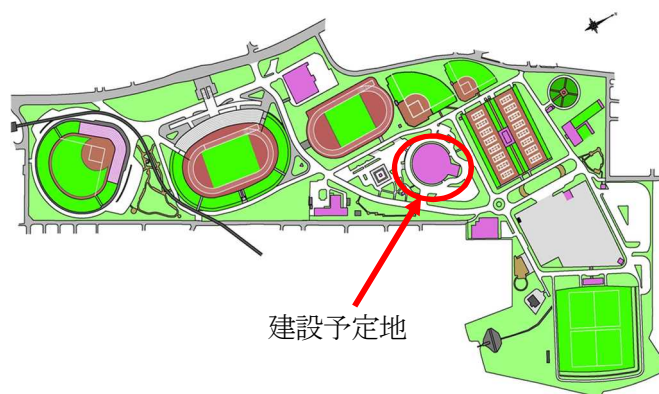
- 県大会や全国規模の大会などの開催に必要な基準を満たした施設とする。
- スポーツ大会に必要な整備をする。
- バリアフリー性能に優れた施設とする。

#### (参考) 既存施設の概要

建築年 1972年7月  
構造・規模 鉄筋コンクリート造 2階建て  
延床面積 7,774㎡ (第一競技場1,962.5㎡ 第二競技場798㎡)



既存体育館 (外観)



※今後、本県の競技力向上の拠点となるスポーツ施設として整備できるよう、競技団体などの意見も聞きながら、検討を進めていきます。

担当課・問い合わせ先  
教育庁教育振興部体育課  
043-223-4106

# 障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業

予算額 4,000千円

## 1 事業の目的・概要

障害者スポーツ・レクリエーションセンターについて、施設機能の充実を図るため、体育室の空調整備に着手します。

また、建築から36年が経過し、施設・設備の老朽化等の課題が生じていることを踏まえ、将来的な障害者スポーツ・レクリエーションセンターのあり方について検討を行います。

## 2 事業内容

(1) 障害者スポーツ・レクリエーションセンター体育室冷暖房整備事業 3,300千円  
施設内の体育室の空調設備の整備に向けた基本計画を策定します。

(2) 障害者スポーツ・レクリエーションセンターのあり方検討 700千円

障害当事者やパラスポーツ関係者、有識者等で構成する会議を設置し、検討を行います。

## 3 施設概要

所在地	千葉県稲毛区天台町6-5-1
敷地面積	5,897.5㎡
建物構造・面積	RC造平屋建 1,496.0㎡
主な施設構成	体育室、多目的室、音楽室、教養文化室



担当課・問い合わせ先  
健康福祉部障害者福祉推進課  
043-223-2352